



(右) 張廉卿《七言對聯》
(上) 宮島詠士《天高氣清》
(左) 上條信山《張裕釗・宮島詠士
師生紀念碑碑陽(拓本)》

源流を遡る

さかのぼ

誰しも人生において幾度かの転機を経験します。自ら強く望んで成し得た転機、成り行きに任せた偶然的転機…。とりわけ師との出会いは、時にその後の生き方を一変させる影響力があります。書の歴史、それは先人が遺した優れた書跡の積み上げと、師弟による書美の継承・発展の上に脈々と繋がる史実と言えましょう。その中で書家・上條信山は、師・宮島詠士との出会いをきっかけに自身の書を切り拓くことになりました。

本展示では、上條信山「転機の書」に併せ、その書家人生の原点となった師の系譜を作品で辿ります。単なる書風の継承ではない、師弟が紡ぐ気高く深奥な書の世界をご覧ください。